



長崎県大村湾にある田島でのひと時。自炊を楽しむ元阿佐谷福祉工房のご利用者様



目次 contents

- 01 いたるセンター クローバー・マルコ 目黒本町福祉工房 いたる相談室 すまいる高井戸
- 02 いたる地域ケアセンター サポートウイズグループホーム部 PukuPukuさんまるしえ
- 03 阿佐谷福祉工房 あけぼの作業所 ピヨピヨおうちえん

いたる賛助会入会のご案内  
「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。  
「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。  
年会費 105千円(何回でも可)  
郵便振り込み 00110712892  
0339217346 事務局 山本まで

**平成25年度事業報告・平成26年度事業計画について**  
**社会福祉法人いたるセンター**  
理事長 谷山 哲浩 (たにやま てつひろ)

【平成25年度事業報告】  
4月、杉並区障害者地域相談支援センター「高井戸」を杉並区の指定管理事業として受け、サービスを開始しました。いたる相談室は特定相談事業として阿佐谷福祉工房と同じ建物内に移動させました。  
5月、第11いたるホーム・タンゴ(5床)を開設し、順調に推移しております。次に、区内有地の重度障害者ケアホーム施設整備プロジェクトに参加しましたが、次点で落選となりました。当法人は、現ご利用者様・障害者の高齢化対策として「終の住処」を創ることが最重要事項となっており、今後とも挑戦を続けたいです。なお、職員配置のため人件費が大幅増となりましたが、来期は、世田谷区北島山にグループホームカノンを新設し、

収支の改善を図ります。  
9月、イタル成城の新築工事入札を実施しましたが、落札に至らず、11月の再入札で、工事が決定しました。竣工は27年2月、開所は4月予定です。  
12月、三井不動産リアルティ株式会社とともにソーシャルオフィスプロジェクトを立ち上げました。重度障害者を企業に多数雇用していただくことは当法人の念願かつ使命であり、ようやく阿佐谷福祉工房の3名が清掃業務で企業雇用につながりました。  
東京都の実地検査では、定款や役員報酬に関して理事会・評議員会の諮問・議決等を行い、都の指導に従い速やかに改善の方策を実行し、年度内に改善点の解決に向けた行動を開始しました。

【平成26年度事業計画】  
社会的課題の解決には、地域福祉の確立が重要です。昨年度より進めてきた「いたる維新」構想を具現化してまいります。  
■障害から福祉へ■揺りかごから墓場まで■24時間365日の安心・安全等をキーワードに、〈福祉・介護・医療・教育・農業〉という「5つの事業ドメイン」への本格的な挑戦を始めます。特に、「食と健康」というテーマについては、グリーンケア(自然とふれあえる農園や牧場などで障害者も健常者も分け隔てなく、誰もが意味もあること、できることをすることで、心のケアを行う)の考え方に基づいた、ソーシャルファームの実現を目指します。  
こうした改革の推進にあたり、平成26年度はまず、「環境整備」と「職員の意識改革」の二点を掲げました。

阿佐谷福祉工房

にぎやかな風で田島フェア

施設長 佐藤 章 (さとう あきら)



おいしいお米をおむすびに!

阿 佐ヶ谷駅のガード下にあるお店「にぎやかな風」で長崎県の大村湾に浮かぶ全長約3kmの無人島で「体験リゾート」「安心安全の自然栽培農法」「福祉」など様々な取り組みを行っている田島の紹介を行いました。  
今年のゴールデンウィークには、三井不動産リアルティ株式会社に就職された2名の方が、自分で稼いだお金を使って2泊3日その島を訪れ、自然を満喫し帰ってきました。その時の様子を写真パネルで展示し、紹介するとともに、島でとれた完全無農薬無肥料、



お店番として頑張っています

合鴨農法で採れたお米の販売とその他、国産の厳選素材でむすんだ「おむすび」の販売や工場のシルクスクリン印刷で製造した田島Tシャツの販売等を行いました。工房では日頃より地域資源を有効活用し、ご利用者様や就職された方の「自立と共生」のために支援を惜しまず行っています。にぎやかな風では、プクプクブランドのパンや当工房のラスク・クッキーをカフェでお楽しみいただけます。ご利用者様もガイドヘルパーの方等とご休憩にお使いただけます。  
皆さまのご来店をお待ちしています。

あけぼの作業所

施設長 荻野 路子 (おぎの みちこ)

「TUNAGU」 in 六本木ヒルズ

天 候に恵まれた5月3日、4日、当施設のキッチンカー「TUNAGU」が、六本木ヒルズアリーナでデビューしました。  
両日、(株)テレビ朝日クリエイト様のイベントおよびJAWAVE主催のイベントが六本木ヒルズ内で開催されていたため、会場は多くの方で一杯でした。  
お陰様で多くの方にご来店いただき「タイカレー&ソーセージ」のセツトは大好評でした。  
今回は、日頃からお世話になっている渋谷パークカフェの入江様のご紹介で出店する



キッチンカー「TUNAGU」の雄姿

ことができました。  
ところでこのキッチンカーは、ポートレースの売上金の一部で事業支援を行う日本財団の福祉車両助成によるものです。そして、ご利用者様の工賃アップに繋げる目的だけではなく、東日本震災を教訓にいざという時の命をつなぐ架け橋(支援用車両)になることも目的の一つになっています。  
当日は、お一人でいくつもお買い上げくださった方もいらっしゃいました。このイベントでお世話になったすべての皆様に感謝し、これからもがんばってまいります。

開設報告

室長 花山 隆洋 (はなやま たかよし)

4月24日より、当法人の事業所内保育所「ピヨピヨおうちえん」に第1号のご利用者0歳児1名を受入れました。阿佐谷福祉工房にお勤めのパートナーさんのお子さんです。皆さんのご利用を保育士一同お待ちしております。



手厚い保育体制にママも大満足

いたる広報委員  
発行責任者=谷山 哲浩  
社会福祉法人いたるセンター  
〒167-0032  
東京都杉並区天沼1-15-18  
TEL: 03-3392-7346  
FAX: 03-3391-8039  
Eメール: info@itarucenter.com  
HP: http://www.itarucenter.com/  
発行日/平成26年7月1日  
ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。  
いたる広報委員まで。



### クローバー・マルコ

#### 洗濯サービスの開始

ローバーでは天沼屋舎の建て替えに伴い、洗濯サービスを中止しておりましたが、平成26年1月より洗濯機・乾燥機の設備を整えることができましたので、宿泊される方への洗濯サービスを再開させていただき運びとなりました。

洗濯を希望される方・希望されない方がいらつしやるため、各ご利用者様のご希望に

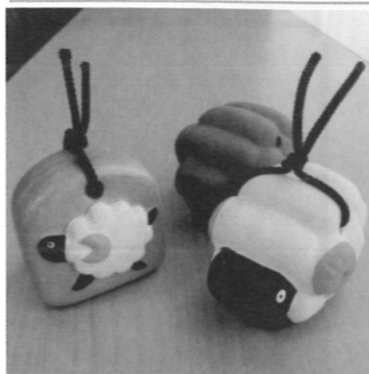
マネージャー 影山 仁美

応じて洗濯サービスを行わせていただきます。毎回、ご利用前に提出していただく契約書にてお知らせください。  
〈洗濯サービスの範囲〉退所前日の入浴前まで着用されていた衣類・通所通学先で使用された衣類等 ※洗濯サービスは洗濯機・乾燥機を使用し、通常コースでの洗濯・乾燥をさせていただきますので、縮む恐れのあるセーター類や色

### 目黒本町福祉工房

#### 来年の干支土鈴製作中!

現在作っているのは来年の干支『未(ひつじ)』です。土鈴作りは毎年12月より再来年の干支モチーフの構想



絵馬型と立体型の2種類をご用意

を練り始めます。再来年だけに少々ぴんとこない中、スタッフ間でアイディアを出しあいイメージを膨らませていきます。

今回は二種類の石膏型を作製。昨年に引き続き人気の高い「絵馬型」と、ひつじの形を活かした「立体型」ができあがりしました。立体型は実際に絵付けをしてみると：想像を越えた「ゆるい」可愛さが

就労継続支援B型 田村 麻美

落ちる恐れのある衣類はそのままお持ち帰りいただきます。なお、このサービス開始により、衣類関係は少量のご用意で宿泊していただけるので、是非ご利用ください。  
※バスタオル含めたタオル関係や防水シューズ等もこちらで用意しております。



最新型のランドリーを導入

### いたる相談室

室長 渡邊 紀子

#### 児童支援利用計画について

お 手元に何色の受給者証が  
ありますか?

福祉サービスをご利用のお子様は、サービスの内容によって計画の名称・要否が異なります。

オレンジ色の受給者証(児童通所受給者証)をお持ちの方は児童支援利用計画の対象です。法律上の名称は「障害児支援利用計画」ですが、杉並区では「児童支援利用計画」と言います。黄色の受給者証(障害福祉サービス受給者証)のみの方は「サービス等利用計画」、緑の受給者証(移動支援事業受給者証)のみの方は計画不要です。

複数の受給者証をお持ちの方は、オレンジ色が優先と考えていただけると解りやすいと思います。複数の計画を別々に作成する必要はなく、計画の目的・内容は、サービス等利用計画と同じです。

複数の受給者証をお持ちの方は、オレンジ色が優先と考えていただけると解りやすいと思います。複数の計画を別々に作成する必要はなく、計画の目的・内容は、サービス等利用計画と同じです。

### すまいる高井戸

センター長 春山 陽子

#### 二年目のすまいる高井戸をよろしく

今 年の4月12日で、すまいる高井戸は2年目を迎えます。昨年度は、5600名

の方の利用がありました。今年度は、昨年度からの委託事業の相談事業・地域ネットワーク事業・自立支援事業、虐待を受けた方への見守り事業などのほか、6月1日より、来所による視覚障害者の方への代読・代筆サービスを開始しました。官公庁や学校からの通知文書などの代読と簡単な代筆も行います。また、好評のパソコン講座は、2台のパソコンを購入し、昨年より利用しやすくなりました。

今年も気軽に立ち寄り、相談しやすいすまいる高井戸を目指します。どうぞよろしくお願ひします。



すぎ散歩に参加いただいた皆様

### パン工房PukPuku 店長 斎藤 真由子

#### おかげさまで開店5周年

パン工房PukPukuは、本年6月にお陰様で5周年を迎えることができました。それを祝い、6月20日から30日まで、「大感謝祭」を開催しました。

期間中「懐かしの復刻パン」と称して、人気だった「黒糖生姜パン」(百円)、「カレーナン」(百八十円)などの販売をはじめ元パティシエであるパン職人の作る「手作



人気のナンを通販!

### SunMarche(さんまるしえ)

#### 開店3周年を迎えて

さんまるしえは、本年6月に開店3周年を迎えました。おかげさまで、売上も順調に伸び、これもひとえに、目黒区の地域の皆様のご支援の賜物と感謝する毎日です。さて、この度記念月間として「手作り人形」の体験フ



手作り人形体験フェアの一コマ

7月は施設SUNの家事代行サービスの取次など、商品以外のお客様サービスも取り込んでおり、目黒区の地域のお客様に愛されるショップ創りに取り組んでまいります。

### いたる地域ケアセンター センター長 八巻 利子

#### サポートウイズとグループホーム部の支援連携



サポートウイズとグループホーム部の合同外出

昨年8月迄、サポートウイズとグループホームは個別に事業を展開していましたが、9月からはお互いにヘルパーさんや支援員さん達が双方の支援をしていくという形になりました。グループホームの通院介助や日勤・宿直はサポートウイズの職員やヘルパーさんもお手伝いし、サポートウイズの移動支援等をグループホームの職員さんが手伝うという新たな形が徐々に進んできています。

### サポートウイズ

#### グループ外出について

サポートウイズが開設されてから続けているグループ外出も6年になりました。今年度に入ってからサイボクハムでBBQ・高尾山のハイキングを行い、普段では見られない素敵な表情に出会ってきました。今後は夏は海の水族館・秋はさつま芋堀り・みかん狩り等を企画していきます。



ご利用者様が楽しめる企画を提案します

お問い合わせください。

ご希望の方は、お気軽にお

施設長 八巻 利子

### グループホーム部

世話人

三田 浩史 今林 敏之

#### GHカノン、世田谷区に堂々オープン!

去 5月1日、いたるセンターの世田谷区進出第一号となるグループホーム・カノンが、同区北烏山に誕生いたしました。すぐに定員となり、当地での期待の大きさを感じています。

アパートを一棟まるまる改造し、モダンな雰囲気のホテルです。定員5名の2ユニット、合計定員10名が、新たな生活を始めています。

#### 【支援員のコメント】

日々、ご利用者様の皆様にどのような対応することが良いのかを考えて行動できるように努めています。頑張っていきます。(今林敏之) 色々な課題をクリアし、自ら提案ができるようになりました。よく頑張りました。(三田浩史)

(三田浩史)